



三鷹市

市民協働センター

まちづくり虎の巻

MACHI-DUKURI TORAnoMAKI



あなたの「やりたい！」を応援します。
市民協働センターを、ぜひご活用ください。

市民協働センターってこんなところ

- ◎まちで何かしたい、役に立ちたい!
- ◎自分たちの活動をPRしたい!
- ◎助成金情報を知りたい!
- ◎共に活動するメンバーを増やしたい!
- ◎自分の技術をまちで活かしたい!

そんな想いを、応援します!



1. あなたと一緒に

あなたの活動を様々な角度から応援します。



2. つながろう

様々な団体や個人、商店街や学校などの協働の窓口になります。



3. 共に創る

まちでの活動や仕組みを一緒に育てます。

4. 場の提供

場所だけでなく「コト」のための場作りも。



5. 情報の提供

多様な情報やネットワークを持っています。

市民協働センターがめざすこと

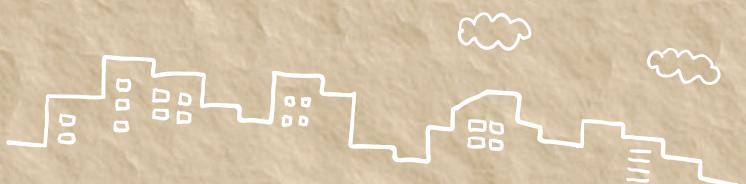
すべての市民が主人公。
居場所と出番があるまちへ。



私たちが暮らすまちには、
市民だけでも、行政だけでも
解決できない課題がたくさんあります。

赤ちゃんからお年寄りまで
誰もが安心して豊かに暮らしていくために大切なことは、
市民、地域自治組織、教育・研究機関、
企業や商店、NPO、行政などが
それぞれの特性を活かし、ともに考え、協力し合い、
まちの未来を描き、実現していくことです。

三鷹市市民協働センターは、
「つなぐ」「ささえる」「つむぎだす」という
3つの機能により、みなさんのパートナーとして、
参加と協働のまちづくりを支えていきます。

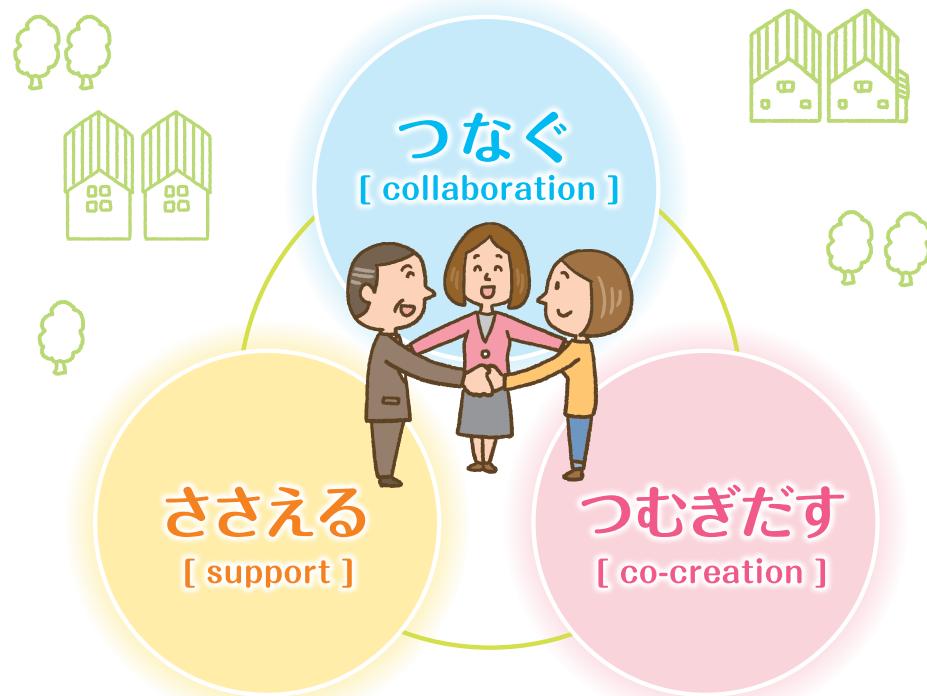


市民協働センターは、

つなぐ・ささえる・つむぎだす

[collaboration] [support] [co-creation]

という3つの機能を持っています。



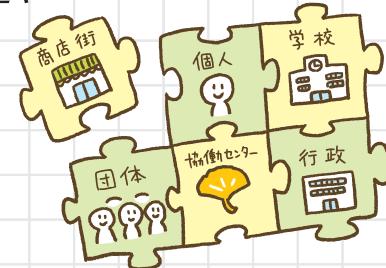
これらの機能は、それぞれのはたらきを行いつつ、
関わりあって、新しいものを生み出していくます。

このまちの未来を開く市民協働センターへは、
どの入り口から入ってもよいのです。



つなぐ [collaboration]

様々な立場の人が、活動における課題や
思いを共有し、それぞれの特性を
活かして活動できるよう、
協力し合える環境をつくります。



実践例

- ◎市民活動団体の紹介
- ◎トークサロンの開催
(テーマ「地域の居場所づくり」「学生ボランティア」など)
- ◎市民活動・NPOフォーラム「みたか わの縁日」の開催
- ◎がんばる地域応援プロジェクト事業の支援
(地域自治組織とNPO・市民活動団体との連携支援)
- ◎学生と市民活動とのマッチング



トークサロン



みたか わの縁日



ささえる [support]

情報、学び、場、機器の提供などを通して、
市民活動が、自由で自律(立)的に
発展するよう、様々な角度から
応援していきます。



実践例

- ◎ミーティングルーム、ロッカー、情報交換箱、印刷機、紙折機などの提供
- ◎市民協働センターホームページに各登録団体の情報を掲載
- ◎講座・セミナーの開催
(例「先進事例の紹介」「情報発信講座」など)
- ◎ホームページ、ニュースレターの発行
- ◎各種相談(NPO法人設立等)
- ◎みんなの本箱(まちづくり関連の書籍の貸出)



市民活動推進コーナー



つむぎだす [co-creation]

市民はこのまちの未来をつむぎだす主人公です。
市民協働センターは、市民が責任ある
担い手として、このまちを
共に創るための道を開きます。



実践例

- ◎「みたかスペースあい」の運営
- ◎「まちライブラリー@中央通り」の立ち上げ支援
- ◎「まちなか農家」プロジェクト(トークセッション「市民×IT」から)
- ◎三鷹Mマルシェへの市民活動団体の参加
(シンポジウム「商店街はまちの駅」から)
- ◎みたかまちづくりディスカッションの運営
- ◎まちづくりに関する市民参加の窓口



みたかスペースあい



まちづくりディスカッション

《市民協働センター設立の歴史》

■コミュニティ・センターの建設

1971年(昭和46年)2月	「第2次三鷹市中期財政計画大要」でコミュニティ・センター建設構想発表
1973年(昭和48年)11月	大沢住民協議会発足
1974年(昭和49年)2月	大沢コミュニティ・センター開館
1978年(昭和53年)4月 ～1984年(昭和59年)6月	牟礼コミュニティ・センター、井口コミュニティ・センター、井の頭コミュニティ・センター、新川中原コミュニティ・センター、連雀コミュニティ・センター開館
1993年(平成5年)12月	三鷹駅前コミュニティ・センター開館(7つのコミュニティ・センター完成)

■みたか市民プラン21会議

1999年(平成11年)5月	「みたか21世紀市民プラン検討会議(仮称)準備会」発足
1999年(平成11年)10月	「みたか市民プラン21会議」発足／市とパートナーシップ協定締結
2000年(平成12年)10月	提言書「みたか市民プラン21」を市に提出
2001年(平成13年)11月	パートナーシップ協定終了／みたか市民プラン21会議解散

■市民協働センターの開設

2002年(平成14年)11月	三鷹市まちづくり研究所(第1分科会)
	「市民協働センターのあり方について」を市に提言(第1次提言)
2003年(平成15年)6月	三鷹市まちづくり研究所(第1分科会)
	「市民協働センターのあり方について」を市に提言(第2次提言)
2003年(平成15年)9月	三鷹市市民協働センター条例制定
2003年(平成15年)12月	同センター開設(公設公営)
2004年(平成16年)6月	同センター運営準備委員会から提言
2005年(平成17年)12月	同センター企画運営委員会からの報告
2007年(平成19年)4月	公設協働運営(市民スタッフの登用)
2008年(平成20年)10月	NPO法人みたか市民協働ネットワーク設立
2008年(平成20年)12月	同NPO法人と三鷹市とのパートナーシップ協定締結
2009年(平成21年)4月	同NPO法人が指定管理者として市民協働センターの管理運営を受託(3年間)
2012年(平成24年)4月	同NPO法人が指定管理を更新(5年間)
2017年(平成29年)4月	同NPO法人が指定管理を更新(5年間)

■三鷹市自治基本条例

2003年(平成15年)11月	三鷹市まちづくり研究所(第2分科会)
	「三鷹市自治基本条例(仮称)」の策定について市に提言
2006年(平成18年)4月	三鷹市自治基本条例施行

《三鷹市自治基本条例》

2006年(平成18年)4月施行

前文（一部抜粋）

主権者である市民の信託に基づく三鷹市政は、
参加と協働を基本とし、市民のために行われるものでなければならない。

市民にとって最も身近な政府である三鷹市は、市民の期待に応え、
市民のためのまちづくりを進めるとともに、
まちづくりを担う多くの人々が、参加し、助け合い、そして共に責任を担い合う
協働のまちづくりを進めることが基調とし、
魅力と個性のあるふるまち三鷹を創ることを目指すものである。

協働のまちづくり

第32条

(1)

市長等は、市、市民及び事業者等の多様な主体が相互に連携協力し、
まちづくり及び公共的なサービス提供の担い手となる協働のまちづくりを推進するため、
市民協働センターの環境整備を行うとともに、必要な支援を行うものとする。

(2)

市長等は、協働のまちづくりの推進において、多様な主体が情報を共有し、意見を交換し、
積極的な参加及び意思形成が図られるよう、多様で開かれた場と機会の創設に努めなければならない。

(3)

市民、事業者及び市長等は、計画の策定及び実施の過程において、
市民参加の実効性を確保し、協働のまちづくりを推進するため、各々の役割、
責務等を定めたパートナーシップの推進に関する協定を締結することができる。

三鷹市市民協働センター

〒181-0013三鷹市下連雀4-17-23

TEL 0422-46-0048 FAX 0422-46-0148

E-mail kyoudou@collabo-mitaka.jp

Web <http://www.collabo-mitaka.jp>

ウェブサイトへ
アクセス
できます!



お気軽に立ち寄りください

【開館時間】午前9:00～午後9:30

【受付時間】午前9:00～午後9:00

【休館日】火曜日(祝祭日は開館し直近の平日を休館とします)／年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)

(バスのご案内／小田急バス)

JR 三鷹駅より

三鷹駅より約1km／徒歩：約15分

- ②番のりば 調布駅北口(鷹56)行き
八幡前・芸術文化センター前下車 徒歩5分
- ③番のりば 深大寺・神代植物公園前行き
- ⑤番のりば 國際基督教大學・調布駅北口(鷹51)・
武藏小金井駅南口・大沢・大沢十字路行き
- ⑦番のりば 仙川・晃華学園東・新川団地中央行き
八幡前下車 徒歩3分

京王線 調布駅より

- ⑬番のりば 三鷹駅行き
八幡前下車 徒歩約3分

京王線 仙川駅より

- ①番のりば 三鷹駅行き
八幡前・三鷹芸術文化センター前
下車 徒歩約3分



※三鷹市市民協働センターへのご来館は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

※パンフレットの内容は2017年9月現在のものです。

発行／NPO法人みたか市民協働ネットワーク

編集・デザイン・イラストレーション／Kosaka Taichi illustration office